

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	地域共助型生活交通(コロナ矢板・玉田)運行事業	総事業費	1,622,031	2,948,042	3,029,715	3,000,000	3,000,000	13,599,788
		うち市町支出額	1,287,825	2,290,057	2,300,000	2,300,000	2,300,000	10,477,882
		うち県交付金	342,913	525,000	525,000			1,392,913
2	HAPPY HAPPY Project 推進事業	総事業費	1,022,511	691,428	840,100	800,000	800,000	4,154,039
		うち市町支出額	875,000	691,423	800,000	800,000	800,000	3,966,423
		うち県交付金	430,500	325,708	400,000			1,156,208
3	矢板駅前イルミネーション事業	総事業費	1,041,402	996,095	950,000	950,000	950,000	4,887,497
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,000,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000			1,200,000
4	高校生まちづくり活動事業	総事業費	133,440	178,250	167,000	120,000	120,000	718,690
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000			150,000
5	ともなひ文芸祭り	総事業費	1,114,627	902,040	542,510	550,000	550,000	3,659,177
		うち市町支出額	1,000,000	830,000	500,000	500,000	500,000	3,330,000
		うち県交付金	500,000	415,000	250,000			1,165,000
6	川崎城跡公園周辺地域再生事業	総事業費		427,679	393,000	370,000	370,000	1,560,679
		うち市町支出額		270,000	270,000	270,000	270,000	1,080,000
		うち県交付金		135,000	135,000	135,000		405,000
7	片岡駅前イルミネーション事業	総事業費	795,243	524,511	515,000	515,000	515,000	2,864,754
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000				500,000
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,729,254	6,668,045	6,437,325	6,305,000	6,305,000	31,444,624
		うち市町支出額	4,562,825	5,481,480	5,270,000	5,270,000	5,270,000	25,854,305
		うち県交付金	1,973,413	2,100,708	1,760,000	135,000	0	5,969,121

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業
事業主体の名称	コリーナ・玉田共助バス運営会
代表者の名称	会長 戸井出琉
事業主体の所在	〒329-1575 矢板市大槻2320-71 コリーナ矢板自治公民館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市営バス路線の見直しに伴い交通空白地となる沿線住民の移動手段を確保するため、地域共助型生活交通を運行する。 ・設立年月日:令和3年5月1日 ・構成員等:コリーナ矢板自治会員及び玉田行政区の住民
当該事業に係る地域の現状と課題	コリーナ矢板・玉田地区は、起伏のある地形を活かした住宅地であり、徒歩での移動が困難なため、市営バスの利用者が多く(令和元年度延べ2,044人)、片岡小学校からの下校にも市営バスが利用されていた(令和元年度522人)。現在、住民へのアンケート等の結果、地域のニーズに合わせて柔軟に運行計画が作成できる地域共助型生活交通を導入しているが、地域の住民からの意見・要望があり、ルートの変更や時刻表の見直しなど、細かい部分での運行・運営に苦慮している。
事業目的	地域住民の移動ニーズに合わせた移動手段の確保を通じて、高齢者支援や児童の登下校、地域コミュニティの強化を図る。
事業概要	<p>地域共助型生活交通(道路運送法第78条第2項に規定された自家用有償旅客運送の一つ)により、住民ドライバー(指定された講習を受講した場合)が運転する自家用自動車1台で、コリーナ矢板・玉田地区の住民の輸送を行う。</p> <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行(R3.9~) ・ドライバーの育成(随時) ・課題把握、改善(随時) ・状況により、公共交通会議を開き、ルートの追加や本数の増便等の見直しを図る(随時) <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の取組みの課題を把握、改善し、参画住民の増加を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる(基本目標4)</p> <p>【KPI】デマンド交通及び市営バス1日当たり乗車人数 令和7年度80人以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運行内容の決定 ・運転者講習 ・運行マニュアルの整備 ・車両及びドライバー手配 ・保険加入 ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・ドライバーの育成 ・課題把握、改善 ・状況により、公共交通会議を開き、ルートの追加や本数の増便等の見直しを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・ドライバーの育成 ・課題把握、改善 ・状況により、公共交通会議を開き、ルートの追加や本数の増便等の見直しを図る 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善
事業費	1,622,031	2,948,042	3,029,715	7,599,788	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,287,825	2,290,057	2,300,000	5,877,882	2,300,000
うち県交付金	342,913	525,000	525,000	1,392,913	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	334,206	657,985	729,715	1,721,906	700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民生活部 生活環境課 生活業務担当
担当者名	白石 宗矩
電話	0287-43-6755
FAX	0287-43-7501
E-mail	seikatsukankyo@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	2,300,000	矢板市より
料金収入	200,000	運賃収入
雑収入	50,000	寄付金等
前年度繰越金	479,715	前年度運営会独自収入の繰越金
計	3,029,715	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
賃金	1,250,000	1,250,000		0	ドライバー:5,000円×250日
消耗品費	100,000	100,000	50,000	0	車両マグネット、事務用消耗品ほか
燃料費	630,000	630,000	315,000	0	ガソリン代
修繕料	150,000	150,000	75,000	0	車両維持修繕
出資金	50,000			50,000	コリーナコミュニティへ業務委託
保険料	120,000	120,000	60,000	0	任意保険代
委託料	50,000	50,000	25,000	0	運転講習委託料
雑費	200,000			200,000	制服(夏用)等
予備費	479,715			479,715	前年度繰越金を充当
計	3,029,715	2,300,000	525,000	729,715	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業
事業主体の名称	泉交流協議会
代表者の名称	会長 森戸康雄
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:魅力ある地域づくりのため、泉地区を中心とした観光・文化施設等のネットワーク化を推進し、地域間交流や情報発信等を実施することを目的とする。 ・設立年月日:平成23年11月30日 ・構成員等:活動の趣旨に賛同する企業・団体等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>平成27年度から「HAPPY HAPPO Project」として情報誌やホームページ、SNS等で情報発信に取り組んでいる。また、山縣有朋記念館、矢板武旧宅、山縣農場および矢板のリンゴが構成文化財となっている「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」が平成30年5月に日本遺産に認定された事が追い風となり、八方ヶ原や泉民の森のエリアの観光入込数は年々増加している。</p> <p>その様な中、施設間の「横のつながり」と八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持が喫緊の課題となっている。</p>
事業目的	道の駅やいた、観光案内所や各種イベントでの観光PR等とおして、泉地区を中心とした観光・文化施設の周遊促進および情報発信を図る。また、八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持を図るための保護事業を行う。
事業概要	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(高木の伐採、殺虫剤・肥料の散布、ボランティアによる枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備) <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(矢板北PAでの観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(殺虫剤の散布、ボランティアによる枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備、景観確保のための倒木処理、苗木の育成) <p>【令和5年度】【I-d】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(殺虫剤の散布、ボランティアによる枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備、景観確保のための倒木処理、苗木の育成) <p>【令和6年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(殺虫剤の散布、ボランティアによる枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備、景観確保のための倒木処理、苗木の育成)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①観光・特産品PR出展 ②大間々高木伐採 ③大間々レンゲツツジ 殺虫剤・肥料散布 ④ボランティアによる大 間々レンゲツツジ枯枝 除去 ⑤遊歩道整備	①観光・特産品PR出展 ②大間々高木伐採 殺虫剤散布 ④ボランティアによる大 間々レンゲツツジ枯枝 除去 ⑤遊歩道整備 ⑥景観確保のための倒 木処理 ⑦レンゲツツジの苗木 育成	①観光・特産品PR出展 ②大間々高木伐採 ③大間々レンゲツツジ 殺虫剤散布 ④ボランティアによる大 間々レンゲツツジ枯枝 除去 ⑤遊歩道整備 ⑥景観確保のための倒 木処理 ⑦レンゲツツジの苗木 育成		①観光・特産品PR出展 ④ボランティアによる大 間々レンゲツツジ枯枝 除去 ⑤遊歩道整備
事業費	1,022,511	691,428	840,100	2,554,039	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	875,000	691,423	800,000	2,366,423	800,000
うち県交付金	430,500	325,708	400,000	1,156,208	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	147,511	5	40,100	187,616	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	杉山 奈子
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	300,000	運営費補助金①④⑤
補助金	500,000	事業費補助金③⑥⑦
繰越金	40,009	運営費補助金①④⑤
利息	91	
計	840,100	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	10,000	5,000	0	③アドバイザー謝礼
消耗品費	334,000	334,000	167,000	0	③殺虫剤・肥料購入代 ⑦苗木育成消耗品購入代
燃料費	3,000	3,000	1,500	0	④ボランティア送迎バス燃料代
食糧費	10,000	0	0	10,000	④ボランティア飲み物代
通信運搬費	15,000	15,000	7,500	0	①パンフレット送付代
手数料	14,500	14,500	7,250	0	①②支払振込手数料
保険料	2,000	2,000	1,000	0	④枯枝除去ボランティア保険料
委託料	374,000	374,000	187,000	0	②伐採委託料 ⑤遊歩道整備
負担金	27,100	27,100	13,550	0	①日本遺産サミット等
賃借料	50,000	20,400	10,200	29,600	①観光PR土地賃借代
公課費	500			500	②委託契約印紙代
計	840,100	800,000	400,000	40,100	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	矢板駅前イルミネーション事業
事業主体の名称	一般社団法人矢板市観光協会
代表者の名称	会長 高柳 眞知子
事業主体の所在	〒329-2161 矢板市扇町1-13-1 ツーリングビル2階
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 選ばれる観光地を目指し、矢板市における観光地づくりの司令塔となる ・設立年月日: 令和3年6月24日 ・構成員等: 活動の趣旨に賛同する個人・法人(会員数102名)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の玄関口である矢板駅周辺の活性化に向け、駅が地域住民にますます身近な存在となり、地域住民の癒しの場、ふれあいの場として活用することが課題となっている。</p> <p>これまで、市民と駅周辺の事業主を中心に構成される矢板まちづくり研究所が2008年より本事業を実施していたが、令和4年度解散に至った。しかし、矢板の冬の風物詩として定着したイルミネーションを途絶えさせてはいけないと、一般社団法人矢板市観光協会が本事業を継承することとなった。</p> <p>近年では県立矢板高校の電子技術開発部と連携して、イルミネーションの作成を行うなど、新たな担い手の確保や、多団体との連携を進めている。</p> <p>矢板駅は一般の通勤者に加え、市内に3校ある高校に市外から通学する生徒が多数利用することから、これら関係人口と捉え、将来的なU/Jターンを促すため、地域を身近に感じてもらおうような活動が不可欠といえる。</p>
事業目的	<p>矢板市の玄関口である矢板駅前を、地域住民が主体となってイルミネーションで彩ることにより、矢板市の住民一人ひとりが矢板市に愛着と誇りを持ち、矢板市民という地域連帯意識を深めることを目的とする。また、市外から矢板市へ通学する生徒に対しても、高校生が参画した駅前でのイベントを実施することで、様々な利用者に対し地域への帰属意識を高めることを目的とする。</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・矢板駅西口を中心とした駅前の中心市街地において、住民主体によりイルミネーションの点灯と関連するイベントを企画する。 <p>【令和5年度】【1-d】</p> <p>現在、矢板駅西口広場から県道矢板停車場線の北に向かって、民間事業者による複合施設(矢板にぎわい館)や空店舗を活用した施設の開発が進んでいる。それを踏まえ、同エリアまでイルミネーションを拡大し、冬の旧市街地を彩る。この取り組みを通じ、商工会など、まちづくり団体の拠点と連携を図る。</p> <p>また、矢板高校電子科生徒による制作作品を展示する場の提供や、異世代間の交流を図る機会とする。</p> <p>点灯期間 令和5年12月下旬～令和6年2月下旬 点灯時間 17:00から23:30 電球数 約2万球 ・矢板高校電子科制作のイルミネーション設置</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでももらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 188万人(R2)→200万人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流		①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流
事業費	1,041,402	996,095	950,000	2,987,497	950,000
市町支出金(ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	241,402	196,095	150,000	587,497	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	菊地 明子
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	矢板駅前イルミネーション事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	800,000	市補助金
負担金	150,000	一般社団法人矢板市観光協会負担金
計	950,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	10,000			10,000	点灯式出演者謝礼
消耗品費	60,000			60,000	イルミネーションほか消耗品購入
光熱水費	40,000			40,000	イルミネーション電気代
委託料	840,000	800,000	400,000	40,000	電気工事及びイルミネーション設置委託費
計	950,000	800,000	400,000	150,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	高校生まちづくり活動事業
事業主体の名称	YAITA ALL DIRECTIONS
代表者の名称	代表 漆原 尊琉
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的:若者が目指すまちづくりを推進するため、高校生が中心となり、地域の方たちと関わりあいながら、まちなかのにぎわい創出や地域活性化に寄与する活動に努める。</p> <p>・設立年月日:平成30年7月</p> <p>・構成員等:矢板市内に居住・在学する高校生および本会の目的に賛同する高校生</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げた学生団体「Yaita All Directions」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、メンバーである高校生たちを地域の担い手として育成することを目指す。</p>
事業目的	<p>若者が目指すまちづくり活動を支援する。 また、高校生が地域の方たちと関わりあいながら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>「YAITA ALL DIRECTIONS(略称:YAD)」は、平成30年7月に市内3高校(矢板東・矢板・矢板中央)の高校生9名によって設立された団体である。メンバーである高校生たちが、主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、その活動を通じて「居場所」を体感するとともに、活動拠点である「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」が高校生の集まる「居場所」となっていくようにしたい</p> <p>【これまでの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火大会に出店+チラシ配布による団体PR活動(H30→実施、R1→台風の影響で中止) ・「おすすめスポットマップ」の作成・配布(H30→第1弾を作成・配布、R1・R2→第2弾を作成・配布、R2・R3→第3弾を作成・配布、R4→第4弾を作成・配布) ・メンバー募集チラシの作成・配布(R1・R2・R3・R4) ・メンバー募集ポスターの作成(R2・R3→作成・掲示) ・「みんなのつどい(矢板市の男女共同参画事業)」で活動を発表(R1) ・「田舎力甲子園(※矢板東高校リベラルアーツ同好会とともに参加)」で佳作入賞(R1) ・「ボランティアズどっとアワード」でコミュニティ賞受賞(R1) ・旧西小学校を利用したイベントを主催(R4) ・長峰公園でアウトドアイベントを主催(R4) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月現在、メンバー37人(1年生2人、2年生13人、3年生22人)中、過半数の34名が矢板東高校生である。他校生のメンバーも加入したが、いまだにメンバーの偏りがある。 ・他校生も含め、1・2年生のメンバー拡充を図るため、メンバー募集チラシの配布等により団体PRを行う。 ・メンバーは高校生限定。秋には3年生が引退し、1・2年生に役員などを引き継ぐこととなることから、そのタイミングで主要メンバーが変わる。その節目をまたいだ長期内容はなかなか実現が難しい。 →外部団体・個人等に協力をお願いすることで、節目時期を考慮せずイベント等の計画・検討・実施が可能となる。 <p>【令和6年度の活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①広報物の作成 ②イベントの計画・検討・実施【1-1】 外部団体・個人等と連携し、アウトドアイベント等を開催する。 →現段階での計画 【場所】長峰公園 【対象】学生、家族連れ 【時期】10月下旬～11月上旬 【内容】気球搭乗体験や逃走中(鬼ごっこ)の実施 ③高校生カフェの実施検討 →6/4日)実施 【場所】矢板ふるさと支援センター-TAKIBI 【提供内容】フワフル、ドリンク ④その他 ・SNSを活用した団体及び地域に関する情報発信 <p>【令和6年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点にて、活動の継続および新規事業を実施する
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる KPI:市民協働のまちづくり事例数(累計) 現状値(H28-R2)10団体→目標値(R3-7)14団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①まちあるきマップの作成 ②イベントの実施 ③SNSを活用した情報発信	①まちあるきマップの作成 ②イベントの実施 ③SNSを活用した情報発信	①広報物の作成 ②イベントの実施 ③高校生カフェの実施 ④SNSを活用した情報発信		①広報物の作成 ②イベントの実施 ③高校生カフェの実施 ④SNSを活用した情報発信
事業費	133,440	178,250	167,000	478,690	120,000
市町支出金(ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,440	78,250	67,000	178,690	20,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	主事 阿久津 実優
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生まちづくり活動事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	100,000	
雑収入	810	預金利息
繰越金	66,190	前年度繰越金
計	167,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	5,000	2,000	1,000	3,000	事務用消耗品・資料代
印刷製本費	63,000	58,000	29,000	5,000	マップ等印刷代
通信運搬費	4,000	2,000	1,000	2,000	通知等郵送料
使用料及び賃借料	20,000	3,000	1,500	17,000	高速代、駐車場代
火災保険料	35,000	10,000	5,000	25,000	ボランティア保険料
備品購入費	10,000	5,000	2,500	5,000	イベント用備品
委託料	30,000	20,000	10,000	10,000	マップデザイン委託
計	167,000	100,000	50,000	67,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 齋藤 稔
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本市初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成13年5月23日</p> <p>・構成員等:文芸に秀でた市民10人が委員となっている。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり、大勢の愛好家が集まった。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、詩の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することとし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	<p>短歌・俳句・川柳・詩を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図る。</p> <p>また、短歌は全国から作品を募集するため、本市の知名度やイメージ向上のみならず、参加する市民が全国とのつながりを意識することにより、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、短歌部門において全国から作品を募集していたが、県内に募集範囲を変更して実施する。短歌一般の部に応募する場合は、投稿料(参加料)をいただいていたが、今年度から全部門無料として実施する。</p> <p>また、かつては市の委託事業として実施してきたが、現在ではこれまでのノウハウを活かし、当実行委員会が事業主体となって事業を展開している。市内の小中学校とも連携し、若年層を対象とした郷土愛と国語教育発展の場とする。</p> <p>市民の文芸熱、郷土愛を醸成するため、「ともなり文芸祭り」誌上大会として以下の事業を実施する。</p> <p>①文芸作品の募集(7月～9月)</p> <p>②入賞作品の審査・講評(10月～1月)</p> <p>③入賞作品の発表(2月) ※矢板市デジタルミュージアムほか</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 188万人(R2)→200万人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行		①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行
事業費	1,114,627	902,040	542,510	2,559,177	550,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	830,000	500,000	2,330,000	500,000
うち県交付金	500,000	415,000	250,000	1,165,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	114,627	72,040	42,510	229,177	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化担当
担当者名	大貫 真由美
電話	0287-43-6218
FAX	0287-43-4436
E-mail	bunka@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ともなり文芸祭り	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	500,000	
雑収入	3	銀行利息
繰越金	42,507	前年度繰越
計	542,510	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	21,510			21,510	事務用消耗品
報償費	198,000	190,000	95,000	8,000	選者謝金、入賞者商品
印刷製本費	200,000	190,000	95,000	10,000	要項チラシ、ポスター、作品集
通信運搬費	101,000	100,000	50,000	1,000	投稿関係通知郵送料
広告費	21,000	20,000	10,000	1,000	広告掲載料
手数料	1,000			1,000	振込手数料
計	542,510	500,000	250,000	42,510	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	会長 東泉 和男
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の活性化を図るために川崎城跡周辺の景観整備を行う。 ・設立年月日:平成19年5月17日 ・構成員等:活動の趣旨に賛同する市内在住の個人及び団体
当該事業に係る地域の現状と課題	川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏の5代朝義が宇都宮業綱の次男朝業を後継者に迎え築城した川崎城の跡地を整備した公園であり、空堀や土塁、本丸など昔をしのばせる史跡が随所に残っております。園内には、梅の花が咲き誇り素晴らしい景観も満喫できます。しかし、年々木製の橋・手すり等の腐食が進んでおり、来場者数への影響も懸念されることから、周辺の美化活動を継続しながら、景観再整備の必要性が非常に高まっています。
事業目的	本市のシンボルのひとつであり、指定文化財にもなっている「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園にするるとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ <p>【令和6年度】</p> <p>前年度の取組みを踏まえ、事業の充実を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 188万人(R2)→200万人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度(実績)	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や河津桜の植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ	①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ		①園内の草刈等の維持管理 ②園内の花壇整備や植樹等の景観整備 ③栃木県フィルムコミッションに登録されているともなり橋の保全 ④ともなり橋ライトアップ
事業費	427,679	393,000	370,000	1,190,679	370,000
市町支出金(ソフト事業分)	270,000	270,000	270,000	810,000	270,000
うち県交付金	135,000	135,000	135,000	405,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	157,679	123,000	100,000	380,679	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	都市整備課 整備担当
担当者名	金瀬 友泰
電話	0287-43-6213
FAX	0287-43-9790
E-mail	tosiseibi@city.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	270,000	市補助金 270,000円
雑入	239	預金利息等
繰越金	122,761	前年度繰越金
計	393,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
食糧費	2,000			2,000	会議運営費等
委託料	311,000	190,000	95,000	121,000	ともしり橋の保全
通信運搬費	25,000	25,000	12,500	0	通知郵送料等
原材料費	30,000	30,000	15,000	0	花壇の花苗代
保険料	5,000	5,000	2,500	0	作業保険料
消耗品費	10,000	10,000	5,000	0	除草剤、草刈り費用
燃料費	10,000	10,000	5,000	0	刈払い機用燃料代
計	393,000	270,000	135,000	123,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合